



# 学校だより



令和3年4月28日  
5月号  
調布市立第一小学校  
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

## 「自助・共助」

副校長 飯島 慶裕

校庭の桜も八重桜を最後に、若葉が鮮やかになり、さわやかな季節になりました。入学・進級して約1か月がたち、子供たちは元気に学校生活を送っています。

入学式の翌日から、6年生は1年生が登校してくるのを教室で待ち、一緒に準備をしたり、困っている1年生に優しく声をかけたりしています。1年生は、6年生のお兄さんやお姉さんがそばにいてくれたおかげで、安心して学校生活をスタートできたようです。6年生は4月5日の入学式準備の作業でも、1年生の教室の飾り付けだけでなく、机やロッカーの中まで雑巾がけをしてくれにしていました。1年生を迎えるための大きな学校行事に、自分たちが関わることを通して最高学年としての責任感と自覚を新たにしているようでした。子供たち同士の関わりを通して、お互いを思いやる心を育てるとともに、社会性が大きく育つことを期待したいところです。

ところで、今年で10年目を迎えた「調布市防災教育の日」は、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、一般に公開しませんでした。しかし、このような状況下でも、先日桜島が噴火し、宮城県で少し強い地震が観測されるなど、災害は決して待ってはくれません。戦前の物理学者・随筆家である寺田寅彦氏は、災害について「天災ばかりは科学の力でもその襲来を中止させるわけには行かないが、被害は非常時に備えることで軽減されることがある。」と述べています。災害などが起きたときに、どのように行動するのか、どのように自分の身を守るのか、「命」の授業を通して子供たちは学びました。さらに、6年生の子供たちは、起震車体験から、大きな揺れの中では、自分の身は自分で守らなければならない「自助」を再認識しました。災害発生後は、すぐに国や自治体が助けてくれるわけではありません。大事なことは、地域に住んでいる人たちが助け合う「共助」ですが、そのためにも、日頃から地域の方と挨拶を交わして顔見知りになっておくことが大切です。

地震などの災害だけでなく、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために緊急事態宣言が出ている今こそ、自助（3密の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒）、共助（体調が悪いときは外出を控える等）を徹底し、学校と保護者・地域の皆様で、被害を最小限に食い止めていきたいと思っております。御協力をお願いいたします。

